

DPC対応がん化学療法パスと コメディカルの役割



薬剤部 薬剤管理指導課長 村上通康
外来化学療法室 看護係長 山口育子

D P C とは？

DPCとは、**Diagnosis Procedure Combination**の略で、従来の診療行為ごとに計算する「出来高払い」方式とは異なり、入院患者の病名や症状をもとに手術などの診療行為の有無に応じて、厚生労働省が定めた**1日当たりの診断群分類点数をもとに医療費を計算する新しい定額払いの会計方式**です。

従来の会計方式との違い！！

従来の会計方式

出来高評価

入院基本料

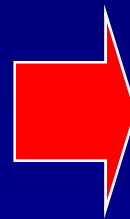
薬（投薬・注射料）

検査料

レントゲン料

リハビリ料

手術料



D P C の会計方式

包括評価

入院基本料

薬（投薬・注射料）

検査料

レントゲン料

出来高評価

リハビリ料

手術料

包括評価の範囲	出来高評価の範囲
ホスピタルフィー的要素	ドクターフィー的要素
<ul style="list-style-type: none"> ■入院基本料 ■検査（内視鏡等の技術料を除く） ■画像診断 ■投薬、注射、特定保険医療材料 <ul style="list-style-type: none"> ■出来高算定できる物を除く ■1000点未満の処置料 	<ul style="list-style-type: none"> ■手術料 ■麻酔料 ■1000点以上の処置手技料 ■心臓カテーテル法による検査 ■内視鏡検査 ■診断穿刺・検体採取 ■指導管理料 ■リハビリテーション ■精神科専門療法 ■<u>手術・麻酔の部</u>で算定する薬剤・特定保険医療材料

診断群分類の決定方法

医療資源を最も投入した**傷病名**の決定 (ICD10)



ICD10から診断群基本分類の決定



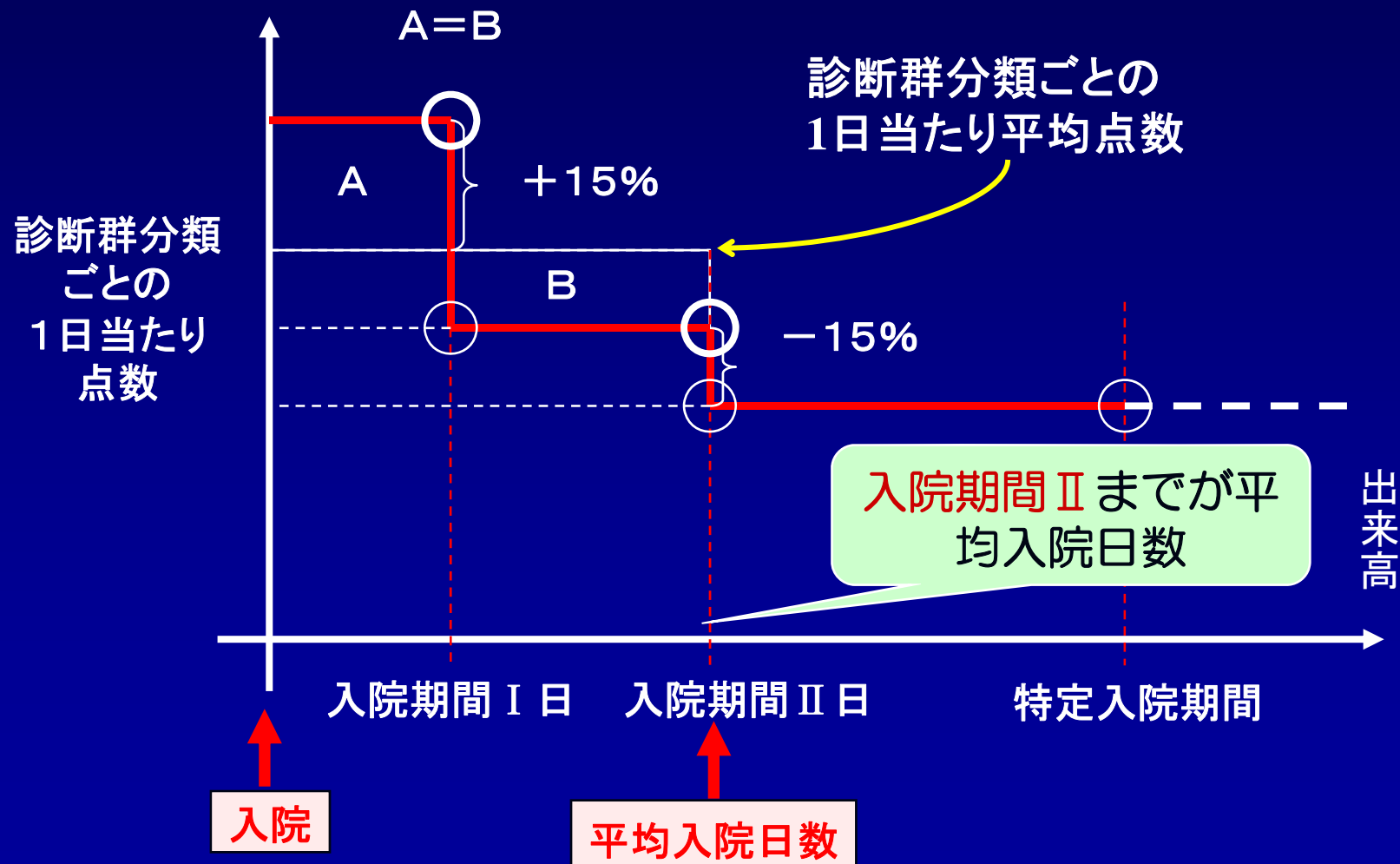
副傷病、診療行為等から**診断群分類の詳細**を判断

結腸（上行-S状）の悪性腫瘍

手術	手術・処置 2	副傷病	入院Ⅰ		入院Ⅱ		特定入院		診断群分類番号
			日数	点数	日数	点数	日数	点数	
なし	なし	なし	3	2,811	6	2,200	14	1,870	060035x99x00x
		あり	4	2,927	9	2,316	21	1,969	060035x99x01x
	1あり	10	3,078	23	2,398	55	2,038	060035x99x1xx	
	2あり	15	2,723	30	2,036	64	1,731	060035x99x2xx	
	3あり	3	4,804	5	3,551	10	3,018	060035x99x3xx	
	4あり	2	7,125	4	5,731	6	4,871	060035x99x4xx	
その他の 手術あり	5あり	3	10,930	5	8,079	8	6,867	060035x99x5xx	
	なし	3	2,823	11	2,363	28	2,009	060035x97x0xx	
	1あり	19	3,100	37	2,292	74	1,948	060035x97x1xx	
	2あり	出来高						060035x97x2xx	
	3あり	なし	7	3,392	18	2,708	47	2,302	060035x97x30x
		あり	11	3,274	30	2,622	72	2,229	060035x97x31x
	4あり	なし	6	4,913	12	3,738	29	3,177	060035x97x40x
		あり	7	4,289	24	3,532	64	3,002	060035x97x41x
	5あり	出来高						060035x97x5xx	

在院日数に応じた評価のイメージ

※手術料等は出来高評価



大腸がんの分岐と点数の見方

- 手術なし
- 手術・処置2
 - 1あり:人工呼吸、中心静脈注射、人工腎臓
 - 2あり:放射線療法
 - 3あり:化学療法有、放射線療法なし
 - 4あり:FOLFOX
 - 5あり:アバスチン有
- 算定日数の見方
 - 入院Ⅰ:～未満
 - 入院Ⅱ:入院Ⅰ～入院Ⅱ未満
 - 特定入院:入院Ⅱ～以内

結腸（上行-S状）の悪性腫瘍

手術	手術・処置 2	副傷病	入院 I		入院 II		特定入院		診断群分類番号		
			日数	点数	日数	点数	日数	点数			
なし	なし	なし	3	2,811	6	2,200	14	1,870	060035x99x00x		
		あり	4	2,927	9	2,316	21	1,969	060035x99x01x		
	化学療法有、 放射線療法無	1あり		10	3,078	23	2,398	55	2,038	060035x99x1xx	
		2あり		15	2,723	30	2,036	64	1,731	060035x99x2xx	
		3あり		3	4,804	53	5,551	103	3,018	060035x99x3xx	
		4あり		2	7,125	45	7,31	64	8,71	060035x99x4xx	
		5あり		3	10,930	58	8,079	86	8,667	060035x99x5xx	
		その他の 手術あり	なし		3	2,823	11	2,363	28	2,009	060035x97x0xx
			1あり		19	3,100	37	2,292	74	1,948	060035x97x1xx
			2あり		出来高						060035x97x2xx
3あり	なし		7	3,392	18	2,708	47	2,302	060035x97x30xx		
3あり	あり		11	3,274	30	2,622	72	2,229	060035x97x31xx		
FOLFOX ポート設置	4あり	なし	6	4,913	123	7,38	293	3,177	060035x97x40xx		
	4あり	あり	7	4,289	24	3,532	64	3,002	060035x97x41xx		
FOLFOX+ ベバシズマブ ポート設置	5あり		出来高						060035x97x5xx		

DPC: 抗がん剤の組み合わせも評価

■ 肺の悪性腫瘍

「カルボプラチン＋パクリタキセル」

■ 大腸、直腸肛門の悪性腫瘍

「5-FU＋レボホリナート＋オキサリプラチン」

■ 乳房の悪性腫瘍

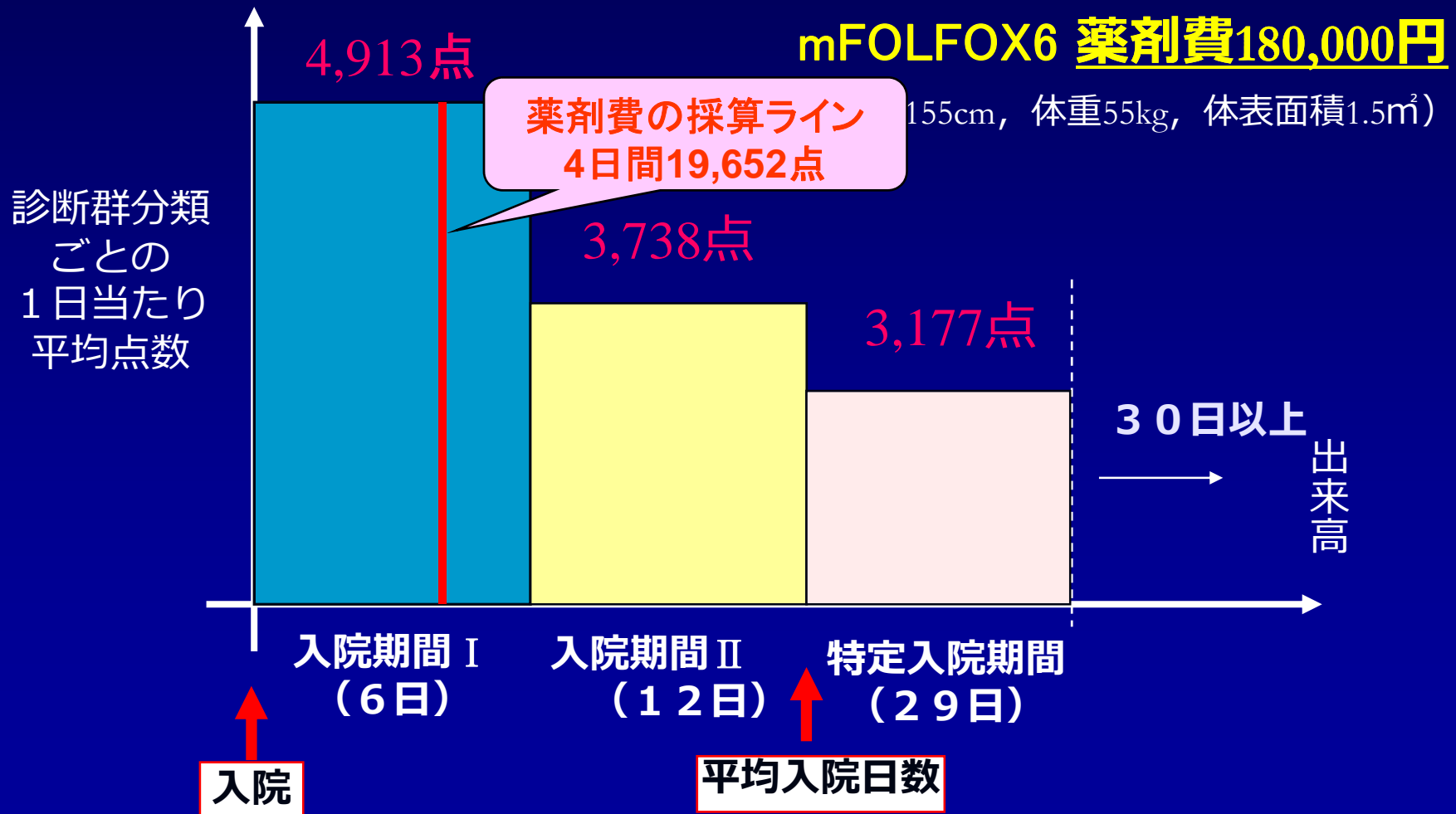
「パクリタキセルまたはドセタキセル」

「シクロホスファミド＋塩酸エピルビシン＋5-FU」

⇒2008年改定よりDPC中に分岐設定

※他がん種についても標準治療に関する検討により、今後増加する見込み。

結腸がん（その他の手術あり,化学療法あり） mFOLFOX6（ポート挿入有り）



【大腸がん化学療法】

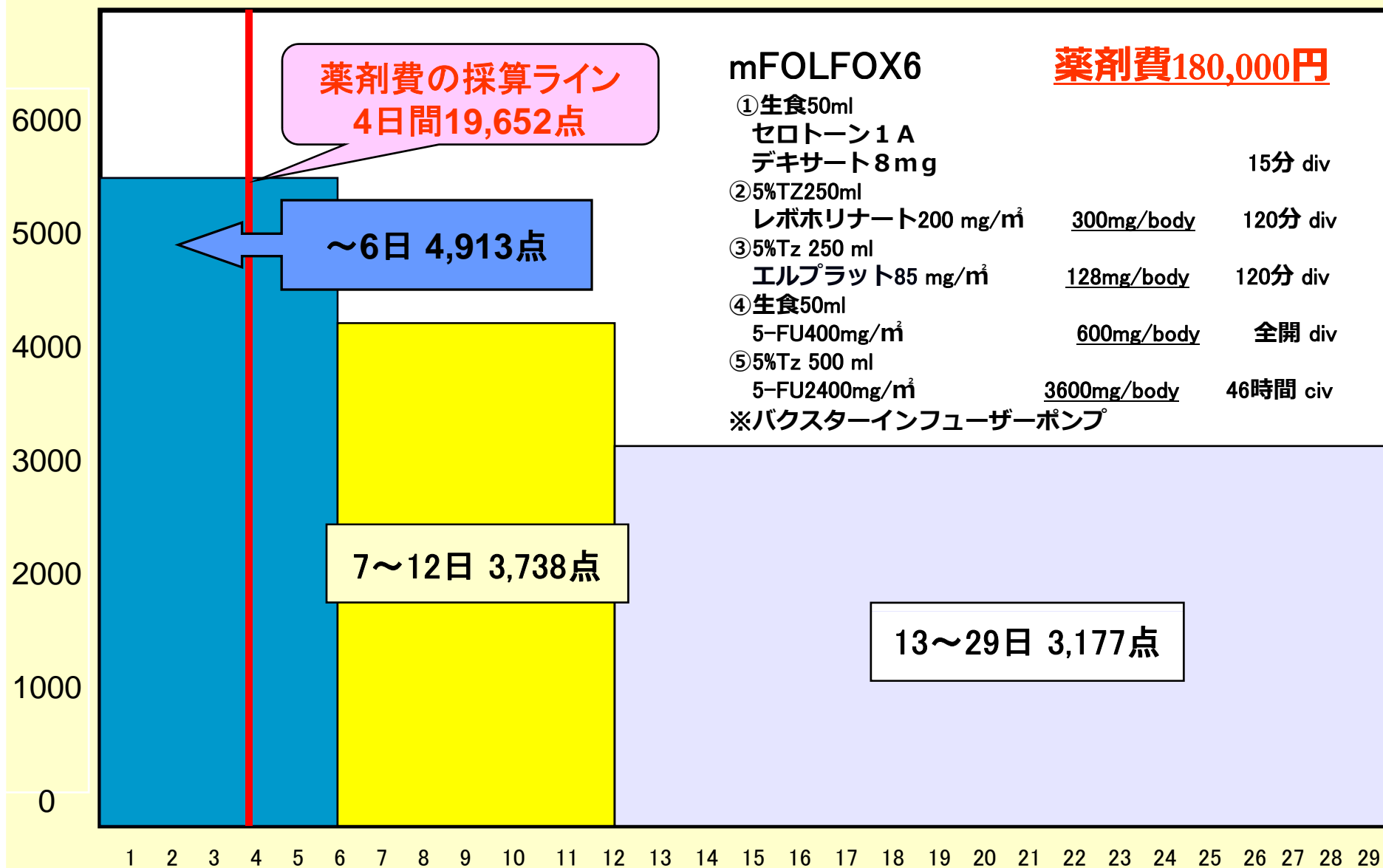
※身長155cm, 体重55kg, 体表面積1.5m²

mFOLFOX6

- | | | |
|--|--------------------|----------|
| ①生食50ml
セロトーン1A
デキサート8mg | | 15分 div |
| ②5%TZ250ml
レボホリナート200 mg/m ² | <u>300mg/body</u> | 120分 div |
| ③5%Tz250 ml
エルプラット85 mg/m ² | <u>128mg/body</u> | 120分 div |
| ④生食50ml
5-FU 400mg/m ² | <u>600mg/body</u> | 全開 div |
| ⑤生食
5-FU 2400mg/m ² | <u>3600mg/body</u> | 46時間 civ |

エルプラット100mg1V 70,544円 × 2 = 145,536円

【mFOLFOX6（ポート挿入有り） 採算ライン】



mFOLFOX6

薬剤費180,000円

- ① 生食50ml
セロトーン1 A
デキサート8mg 15分 div
 - ② 5%TZ250ml
レボホリナート200 mg/m² 300mg/body 120分 div
 - ③ 5%Tz 250 ml
エルプラット85 mg/m² 128mg/body 120分 div
 - ④ 生食50ml
5-FU400mg/m² 600mg/body 全開 div
 - ⑤ 5%Tz 500 ml
5-FU2400mg/m² 3600mg/body 46時間 civ
- ※バクスターインフューザーポンプ

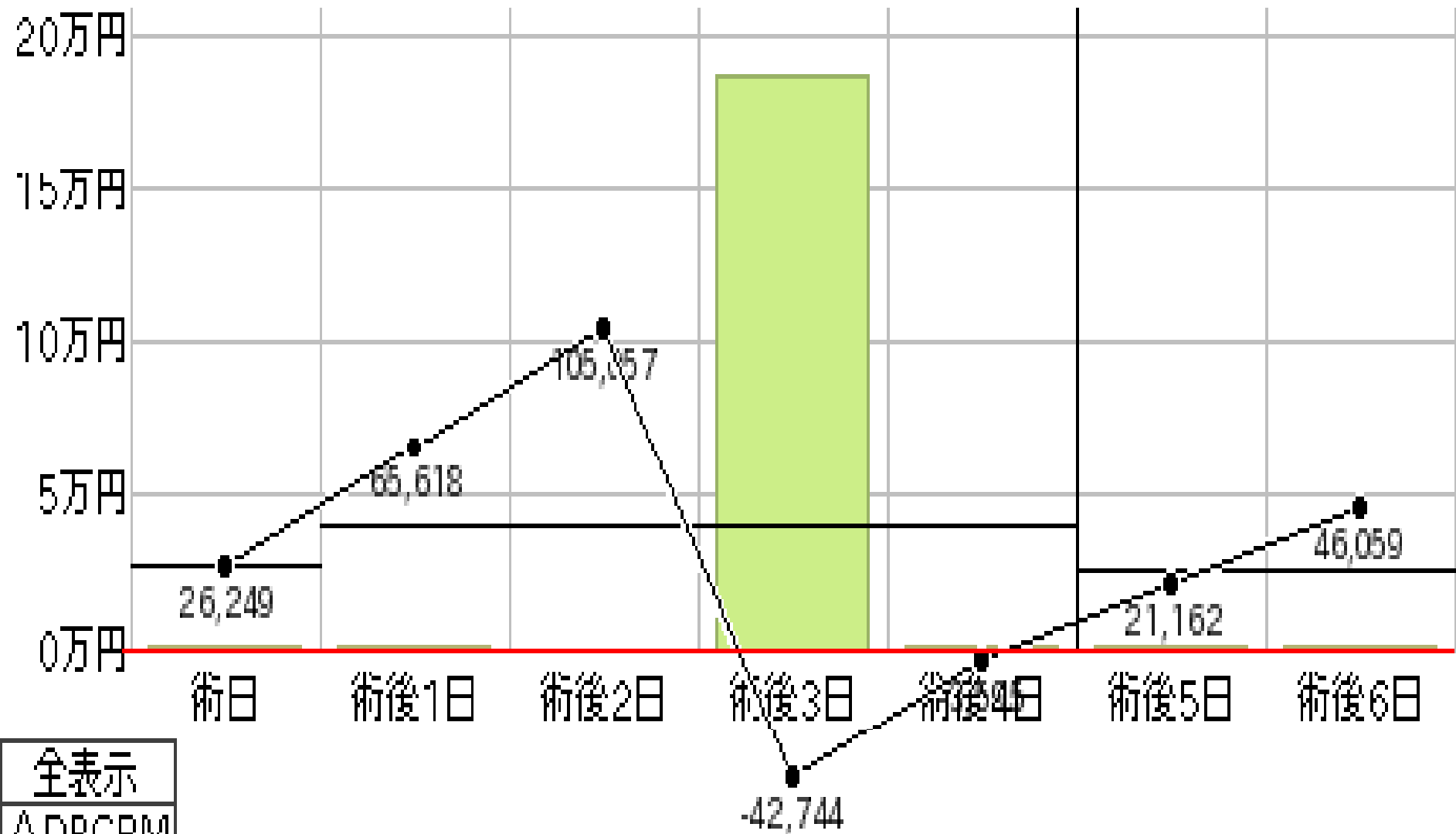
mFOLFOX6療法 事例

3日	抗悪性腫瘍剤局所持続注入		187,240	184,290	
	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	G003		1,650	1
	精密持続点滴注射	G0002		800	1
	無菌製剤処理料1	G0201		500	1
	デキサート注射液 3.3mg	2454 405		210	2mL
	エルプラット注射用100mg	4291 410		141,090	2瓶
	大塚生食注 50mL	3311 401		190	2瓶
	大塚生食注 100mL	3311 401		100	1瓶
	大塚生食注 20mL	3311 401		190	3管
	セロトーン静注液10mg 2mL	2391 402		6,110	1管
	5-FU注250協和 250mg	4223 401		8,820	21管
	大塚糖液5% 250mL	3231 401		250	2袋
	レボホリナート点滴静注用25mg「ヤクルト」	3929 407		6,040	3瓶
	レボホリナート点滴静注用100mg「ヤクルト」	3929 407		21,290	3瓶
5日	生食注シリンジ「オーツカ」10mL		140	140	
	生食注シリンジ「オーツカ」10mL	3311 402		140	1筒
術日	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込型カテーテル設置(頭頸部その他)		129,070	1,070	
	■手術 日				0 1
	■抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込型カテーテル設置(頭頸部その他)	K6113	128,000		1
	■キシロカイン注シリンジ1% 10mL	1214 400		490	2筒
	■ヘパフラッシュ100単位/mLシリンジ10mL 1,000単位	3334 402		580	3筒

mFOLFOX6療法 事例

	100%	術日	術後1日	術後2日	術後3日	術後4日	術後5日	術後6日
診察		¥3,800 ■薬剤管理指						
投薬		¥690 セフゾンカプ ロキソニン錠 調剤料(入院)	¥70 調剤料(入院)			¥290 レンドルミン 調剤料(入院) 調剤料(麻・)	¥80 調剤料(入院) 調剤料(麻・)	¥80 調剤料(入院) 調剤料(麻・)
注射					¥187,240 エルプラット ★レボホリナ 5-FU注250協		¥140 ★生食注シリ	
処置								
手術		¥129,070 ■抗悪性腫瘍 へパフラッシュ ★キンロカイ						
検査								
画像								
その他								
入院		¥33,650 一般病棟7対1	¥21,150 一般病棟7対1	¥21,150 一般病棟7対1	¥21,150 一般病棟7対1	¥21,150 一般病棟7対1	¥21,150 一般病棟7対1	¥22,150 一般病棟7対1
食事		¥1,800 ■入院時食事 ■食事療養標	¥2,700 ■入院時食事 ■食事療養標	¥2,700 ■入院時食事 ■食事療養標	¥2,700 ■入院時食事 ■食事療養標	¥2,700 ■入院時食事 ■食事療養標	¥2,700 ■入院時食事 ■食事療養標	¥900 ■入院時食事 ■食事療養標

mFOLFOX6療法 事例



girasol | case_view - Windows Internet Explorer

https://girasol.mediarc.co.jp/index7.php?module=CaseView&ID=681050052

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

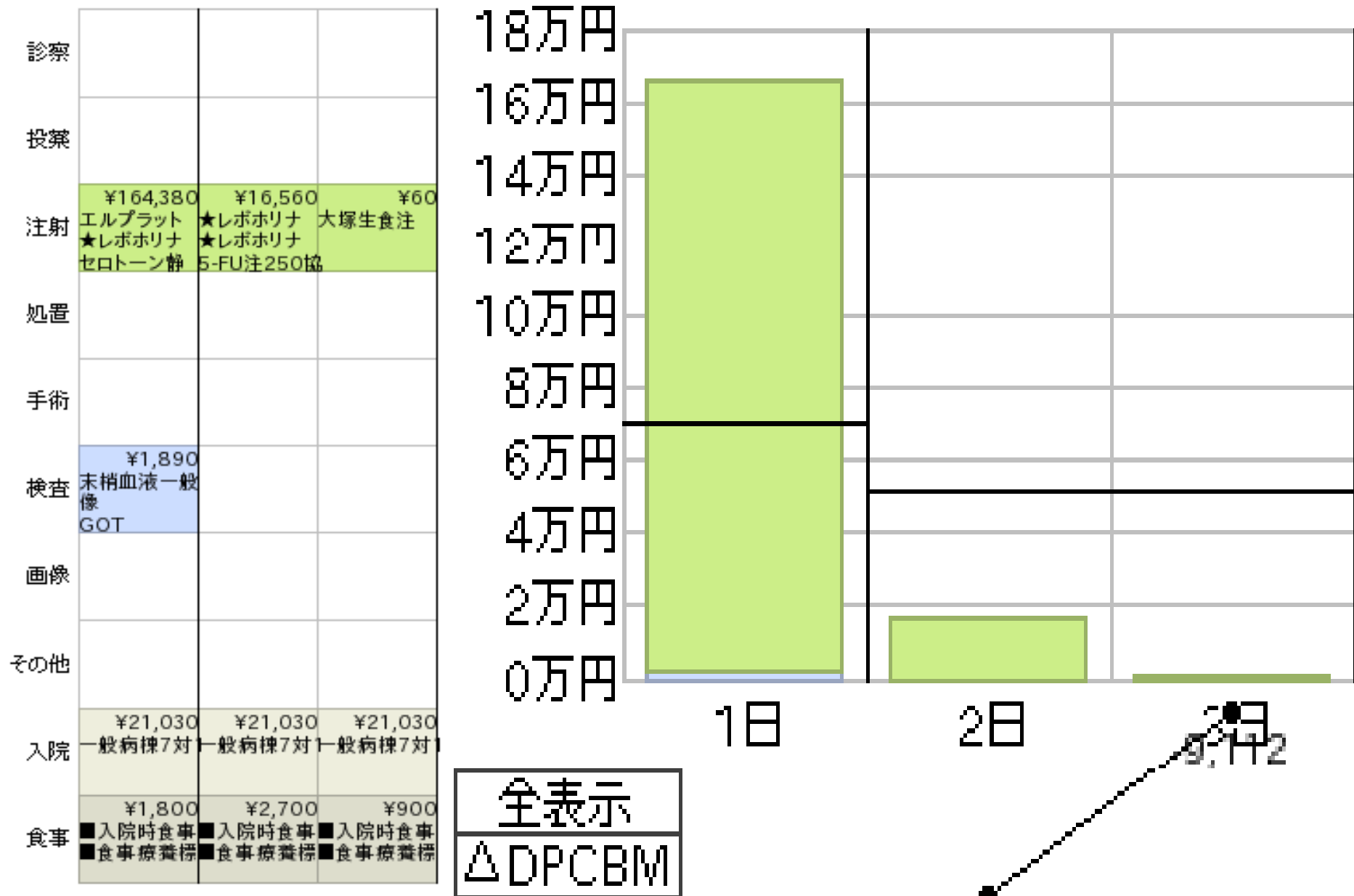
girasol | case_view

日	名称	コード	Er計	手技	薬剤	材料	実施量
1日	抗悪性腫瘍剤局所持続注入		164,380		162,230		
	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	G008		1,650			1
	無菌製剤処理料1	G0201		500			1
	デキサート注射液 3.3mg	2454 405			210		2mLV
	エルプラト注射用100mg	4291 410			141,090		2瓶
	大塚生食注 50mL	3311 401			190		2瓶
	セロトーン静注液10mg 2mL	2391 402			6,110		1管 ※
	ソリターT3号 500mL	3319 510			200		1瓶
	5-FU注250協和 250mg	4223 401			2,940		7管
	大塚糖液5% 250mL	3231 401			250		2袋
	大塚糖液5% 500mL	3231 401			130		1袋
	レボホリナート点滴静注用25mg「ヤクルト」	3929 407			4,020		2瓶
	レボホリナート点滴静注用100mg「ヤクルト」	3929 407			7,100		1瓶
2日	抗悪性腫瘍剤局所持続注入		16,560		14,410		
	抗悪性腫瘍剤局所持続注入	G008		1,650			1
	無菌製剤処理料1	G0201		500			1
	大塚生食注 50mL	3311 401			100		1瓶
	5-FU注250協和 250mg	4223 401			2,940		7管
	大塚糖液5% 250mL	3231 401			130		1袋
	大塚糖液5% 500mL	3231 401			130		1袋
	レボホリナート点滴静注用25mg「ヤクルト」	3929 407			4,020		2瓶
	レボホリナート点滴静注用100mg「ヤクルト」	3929 407			7,100		1瓶
3日	大塚生食注 20mL		60		60		
	大塚生食注 20mL	3311 401			60		1管
1日	GOT		1,290				
	生化学的検査(1)(10項目以上)					0	1
	GOT	D0074		170			1
	GPT	D0074		170			1
	ALP	D0071		110			1
	LDH	D0071		110			1
	BIL/総	D0071		110			1

インターネット 100%

スタート Microsoft... F00初... F10入退... girasol |... ふくろくん girasol |... デスクトップの検索 17:19

FOLFOX4 (3日入院) 事例



再発・進行大腸がん化学療法《mFOLFOX6》パス (クール目) スタッフ用



患者氏名 _____ 患者番号 _____ (_____ 歳)

適応基準	除外基準	ゴール設定	異常時指示
切除不能転移・再発大腸癌症例(投与可能基準 好中球数 $\geq 1,500/mm^3$ 血小板 $\geq 75,000/mm^3$) 本治療に関するインフォームドコンセントが得られていること 臨床診断または病理診断が確定していること。	使用する抗癌剤に対するアレルギーがある患者 退院後の副作用の自己管理ができない症例 血清クレアチニン異常高値	患者・家族が症状治療の必要性に理解できている。 退院後の副作用の自己管理ができる。	嘔気時 セロトニン1A拮抗薬 (1日目は1回のみ) (2日目は2回まで可) これ以降はプリンペラン1A

経過日時	入院日	指示	2日目	指示	3日目	指示
		受 実		受 実	退院 (/)	受 実
アウトカム	重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる		重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる		退院後の副作用の自己管理ができる。	
検査 内服	<input type="checkbox"/> 持参内服薬継続 (有・無)				<input type="checkbox"/> 採血	
注射・点滴					<input type="checkbox"/> 生食フラッシュ後抜針 	

入院期間 3日

観察	1日目		2日目		3日目	
	日動	深夜	日動	深夜	日動	深夜
T						
P						
B/P						
心電図異常・聴診						
嘔気・嘔吐						
末梢神経障害						
疼痛						
倦怠感						
腹痛・下痢						
食事摂取量						
尿回数						
治療・処置						
サイン						

食事 (栄養)	<input type="checkbox"/> 食事可	<input type="checkbox"/> 食事可	<input type="checkbox"/> 食事可
リハビリ・活動	<input type="checkbox"/> 院内安静	<input type="checkbox"/> 院内安静	<input type="checkbox"/> 院内安静

説明・指導	<input type="checkbox"/> 入院オリエンテーション <input type="checkbox"/> 入院診療計画書 (患者パス) <input type="checkbox"/> 薬剤管理指導 <input type="checkbox"/> 栄養管理指導 (NST) <input type="checkbox"/> 褥創危険因子評価 (有・無) <input type="checkbox"/> 持参薬チェック (有・無) <input type="checkbox"/> 転倒転落チェック <input type="checkbox"/> 身長 (cm) <input type="checkbox"/> 体重 (kg)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>適正使用基準</p> <p>★投与可能基準 好中球数$\geq 1,500/mm^3$ 血小板$\geq 75,000/mm^3$</p> <p>★次コース減量基準 最悪時の程度が①白血球$< 500/mm^3$ 血小板$< 50,000/mm^3$ 消化器系の有害事象(Grade3以上) →117 μトを65mg/mlに減量、5-FUを20%減量(300mg/ml全開静注、500mg/ml持続22時間持続静注) ②末梢神経症状(7日以上) →117 μトを65mg/mlに減量、(7日未満は減量なし)</p> </div>	<input type="checkbox"/> 抜針、フラッシュの指導 <input type="checkbox"/> 退院経過 <input type="checkbox"/> 診療情報提供書 (有・無) <input type="checkbox"/> 治療終了 <input type="checkbox"/> 転院入院・情報添付有 <input type="checkbox"/> 転院入院・情報添付無 <input type="checkbox"/> 転院退院・情報添付有 <input type="checkbox"/> 転院退院・情報添付無 <input type="checkbox"/> 当院通院① (外来化学療法) <input type="checkbox"/> 当院通院② (外来放射線療法) <input type="checkbox"/> 当院通院③ (1ヶ月以内) <input type="checkbox"/> 当院通院④ (1ヶ月以上) <input type="checkbox"/> 手術等再入院予定 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 退院処方 (有・無) <input type="checkbox"/> 再来 (外来・電話・なし) (月 日 時 分)
-------	---	--	--

医師指示サイン	上記指示どおり ()	上記指示どおり ()	上記指示どおり ()
バリアンス	有 () ・ 無	有 () ・ 無	有 () ・ 無
医師指示実施後確認サイン	実施後確認 (サイン)	実施後確認 (サイン)	実施後確認 (サイン)
特記事項			

再発・進行大腸がん化学療法《mFOLFOX6》初回導入パス（スタッフ用）



患者氏名 _____ 患者番号 _____ (歳)

適応基準	除外基準	ゴール設定	異常時指示
切除不能転移・再発大腸癌症例（投与可能基準 好中球数 $\geq 1,500/\text{mm}^3$ 血小板 $\geq 75,000/\text{mm}^3$ ） 本治療に関するインフォームドコンセントが得られていること 臨床診断または病理診断が確定していること。	使用する抗腫瘍剤に対するアレルギーがある患者 退院後の副作用の自己管理ができない症例 血清クレアチニン異常高値	退院後の副作用の自己管理ができる。 ポートの管理方法が理解できる。	輸血時 ①プリンペラン1T 1×頓用（1日3回まで） ②プリンペラン1A 1V

経過 日時	入院日		ポート挿入2日目		化学療法1日目		化学療法2日目		化学療法3日目		化学療法4日目		化学療法5日目			
	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実	指示 受/実		
アウトカム	ポート挿入後、痛部の出血がない。				重篤な有害事象なく、安全に抗腫瘍剤を投与できる				重篤な有害事象なく、安全に抗腫瘍剤を投与できる				退院後の副作用の自己管理ができる。			
検査	<input type="checkbox"/> 持参内服薬継続（有・無）								<input type="checkbox"/> 採血							
内服									ロゼカドロン（0.5）8T分2 （朝4T、昼4T）				ロゼカドロン（0.5）8T分2 （朝4T、昼4T）			
処置 注射・点滴	<input type="checkbox"/> ポート挿入（時） （薬剤・器具） （電気メス） （中費）				<input type="checkbox"/> ポート部位圧迫ガーゼ除去 <input type="checkbox"/> 包交				<input type="checkbox"/> 生食フラッシュ後抜針				<input type="checkbox"/> ポート部消毒			
	<input type="checkbox"/> 採血ルート確保 （左手・右手） 生食100ml 1本															
観察	日勤		深夜		日勤		深夜		日勤		深夜		日勤		深夜	
	2検		1検		1検		1検		1検		1検		1検		1検	
	T															
	P															
	BP															
	ポート挿入部 （発赤・腫脹・疼痛）															
	嘔気・嘔吐															
	末梢神経障害 （寒冷感）															
	倦怠感															
	腹痛・下痢															
食事摂取量																
便/尿回数																
治療・処置																
サイン																
食事（栄養）	<input type="checkbox"/> 食事可		<input type="checkbox"/> 食事可		<input type="checkbox"/> 食事可		<input type="checkbox"/> 食事可		<input type="checkbox"/> 食事可		<input type="checkbox"/> 食事可		<input type="checkbox"/> 食事可			
リハビリ・活動					<input type="checkbox"/> 院内安静		<input type="checkbox"/> 院内安静		<input type="checkbox"/> 院内安静		<input type="checkbox"/> 院内安静		<input type="checkbox"/> 院内安静			
説明・指導	<input type="checkbox"/> 入院オリエンテーション <input type="checkbox"/> 入院診療計画書 （患者用パス） <input type="checkbox"/> 薬剤管理指導 <input type="checkbox"/> 栄養管理指導（NST） <input type="checkbox"/> 再発危険因子評価 （有・無） <input type="checkbox"/> 持参薬チェック （有・無） <input type="checkbox"/> 副作用チェック <input type="checkbox"/> ポート挿入承諾書 <input type="checkbox"/> 身長（cm） <input type="checkbox"/> 体重（kg）		<input type="checkbox"/> ポート管理者（本人・家族）						<input type="checkbox"/> ポートモデルの慣用 <input type="checkbox"/> 副作用の理解確認 （外来化学療法の手引きを用いて）		<input type="checkbox"/> 採針、フラッシュの指導 （※別紙あり） <input type="checkbox"/> 外来化学療法サマリーの記入		<input type="checkbox"/> 退院後の生活指導 （外来化学療法の手引きを用いて） <input type="checkbox"/> 異常時の対応方法 [埋め込み型リザーバーを 使用している患者様へ] <input type="checkbox"/> 外来化学療法室の見学			
その他																
医師指示サイン	上記指示どおり（ ）		上記指示どおり（ ）		上記指示どおり（ ）		上記指示どおり（ ）		上記指示どおり（ ）		上記指示どおり（ ）		上記指示どおり（ ）			
医師指示実施後確認サイン	実施後確認サイン（ ）		実施後確認サイン（ ）		実施後確認サイン（ ）		実施後確認サイン（ ）		実施後確認サイン（ ）		実施後確認サイン（ ）		実施後確認サイン（ ）			
バランス	有（ ）・無（ ）		有（ ）・無（ ）		有（ ）・無（ ）		有（ ）・無（ ）		有（ ）・無（ ）		有（ ）・無（ ）		有（ ）・無（ ）			
特記事項																

入院期間7日

適正使用基準
 ☆投与可能基準 好中球数 $\geq 1,500/\text{mm}^3$ 血小板 $\geq 75,000/\text{mm}^3$
 ☆次コース減量基準 最悪時の程度が①白血球 $< 500/\text{mm}^3$ 血小板 $< 50,000/\text{mm}^3$ 消化器系の有害事象(Grade3以上)
 →2A7 フォトを65mg/mlに減量、5-FUを20%減量(300mg/ml全開静注、500mg/ml持続22時間持続静注)
 →2A7 フォトを65mg/mlに減量、【7日未満は減量なし】

再発・進行大腸がん化学療法《mFOLFOX6》初回導入パス（スタッフ用）



患者氏名 _____ 患者番号 _____ (歳)

適応基準	除外基準	ゴール設定	異常時指示
切除不能転移・再発大腸癌症例（既与可能基準 好中球数 $\geq 1,500/mm^3$ 血小板 $\geq 75,000/mm^3$ ） 本治療に関するインフォームドコンセントが得られていること 臨床診断または病理診断が確定していること。	使用する抗がん剤に対するアレルギーがある患者 退院後の副作用の自己管理ができない症例 血清クレアチニン異常高値	退院後の副作用の自己管理ができる。 ポートの管理方法が理解できる。	輸注時 ①プリンペラン1T 1×頓用（1日3回まで） ②プリンペラン1A 1V

経過 日時	入院日	指示		ポート挿入2日目		指示		
		受	実	受	実	受	実	
アウトカム	ポート挿入後、創部の	ポート挿入後、創部の出血がない。						
検査	<input type="checkbox"/> 持参内服薬継続（有・無） <input type="checkbox"/> ポート挿入（ ・物品借用依頼 ・電気メス借用（中責） <input type="checkbox"/> 抹消ルート確保 （左手・右手 生食100ml 1本							
処置 注射・点滴	<input type="checkbox"/> ポート挿入（ 時） ・物品借用依頼 ・電気メス借用（中責） <input type="checkbox"/> 抹消ルート確保 （左手・右手） 生食100ml 1本			<input type="checkbox"/> ポート部位圧迫ガーゼ除去 <input type="checkbox"/> 包交				
観察	日数 2検 T P B.P ポート挿入部 （出血・腫脹・疼痛） 嘔気・嘔吐 末梢神経障害 （寒冷感） 倦怠感 腹痛・下痢 食事摂取量 便/尿回数 治療・処置 サイン	日勤 準夜 深夜 日勤 準夜	日勤 準夜 深夜 日勤 準夜	日勤 準夜 深夜 日勤 準夜	日勤 準夜 深夜 日勤 準夜	日勤 準夜 深夜 日勤 準夜	日勤 準夜 深夜 日勤 準夜	
食事（栄養）	<input type="checkbox"/> 食事可							
リハビリ・活動								
説明・指導	<input type="checkbox"/> 入院オリエンテーション <input type="checkbox"/> 入院診療計画書 （患者用パス） <input type="checkbox"/> 薬剤管理指導 <input type="checkbox"/> 栄養管理指導（N.S） <input type="checkbox"/> 褥瘡危険因子評価 （有・無） <input type="checkbox"/> 持参薬チェック （有・無） <input type="checkbox"/> 聴前聴後チェック <input type="checkbox"/> ポート挿入承諾書 <input type="checkbox"/> 身長（ <input type="checkbox"/> 体重（							
その他								
医師指示サイン	上記指示どおり（							
医師指示実地確認サイン	実施後確認サイン（							
バリアンス	有（							
特記事項								

再発・進行大腸がん化学療法《mFOLFOX6》初回導入パス（スタッフ用）

Ver 2.0

患者氏名 _____ 患者番号 _____ (歳)

適応基準	除外基準	ゴール設定	異常時指示
切除不能転移・再発大腸癌症例（既与可能基準 好中球数 $\geq 1,500/\text{mm}^3$ 血小板 $\geq 75,000/\text{mm}^3$ ） 本治療に際するインフォームドコンセントが得られていること 臨床診断または病理診断が確定していること。	使用する抗癌剤に対するアレルギーがある患者 退院後の副作用の自己管理ができない症例 血清クレアチニン異常高値	退院後の副作用の自己管理ができる。 ポートの管理方法が理解できる。	嘔気時 ①プリンペラン1T 1×頓用（1日3回まで） ②プリンペラン1A iV

経過日時	入院日	指示	ポート挿入2日目	指示	化学療法1日目	指示	化学療法2日目	指示	化学療法3日目	指示	化学療法4日目	指示	化学療法5日目	指示
アウトカム	ポート挿入後、病部の出血がない。				重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる		重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる		重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる		重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる		重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる	
検査														
内服														
処置 注射・点滴	ポート挿入（時） ・物品借用依頼 ・電気メス借用証（中実）		ポート部位圧迫防止テープ除去 口交		5-FU mg/body 毎30分点注									

ゴール設定	異常時指示
退院後の副作用の自己管理ができる。 ポートの管理方法が理解できる。	嘔気時 ①プリンペラン1T 1×頓用（1日3回まで） ②プリンペラン1A iV

セロトーン1A iv

化学療法2日目	指示	化学療法3日目	指示	化学療法4日目	指示	化学療法5日目	指示
/	受 実	/	受 実	/	受 実	退院 (/)	受 実
重篤な有害事象なく、安全に抗癌剤を投与できる。				退院後の副作用の自己管理ができる。			
		□採血					
□デカドロン (0.5) 8T分2 (朝4T、昼4T)		□デカドロン (0.5) 8T分2 (朝4T、昼4T)					

NCCN Recommendation 09'

Category	Acute emesis	Delayed emesis
High Risk	5HT ₃ antagonist + Dexamethasone 12mg + Aprepitant 125mg	Dexamethasone 12mg + Aprepitant 80mg day 2~4
Moderate	5HT ₃ antagonist + Dexamethasone 12mg ± Aprepitant 125mg	Dexamethasone 12mg ± Aprepitant 80mg or 5HT ₃ antagonist day 2~3
Low	Dexamethasone 12mg	Non

初回導入7日間パス

- DPC入院期間Ⅱで収益が得られるパス
- 患者指導の充実
自己抜針指導、ポートトラブル時の対応
副作用発現時の対応、退院後の生活指導
- 外来での継続看護の充実
サマリーによる情報の共有化、外来化学療法
室でのオリエンテーション
- 支持療法の見直し(エビデンスと医療経済を
考慮した薬剤の選択)

がん専門薬剤師の関わり

- 化学療法レジメンの管理
- 支持療法統一（エビデンスと医療経済）
- 入院日数の最適化（副作用と医療経済）
- 患者指導（副作用発現時の対応）
- 後発品の選択

がん化学療法看護認定看護師 の関わり

- スタッフ教育（ケアの質の保証）
- 退院後の生活を見据えた指導
（外来治療における不安の軽減）
- 自己管理（セルフケア）支援
- 外来での継続看護（情報の共有化）
- チーム医療の推進

がん化学療法専任医師と専門コメディカルの
うま（馬）の合うチーム医療

